

市長のタウンミーティング 上野方地区

(敬称略)

	開催日時	平成29年11月13日(月) 19:00～21:00
	会場	上野方公民館
	参加人数	48名
	開会挨拶 書記	上野方地域活性化協議会長 馬場 均 金三津匠

市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	上野方	その他	「魚津のうまい水」の話がありましたが、販売場所はどこでしょうか？市長はPRとおっしゃったが、実際にPRがなされているのかというと、いまひとつの部分があると感じています。
2	上野方	子育て	子育てについて、市には支援センターが二箇所あると聞いていますが、その利活用状況についてお聞かせいただきたいです。
3	上野方	教育環境	よつば小学校の開校に伴う、教育環境の変化等を踏まえて、新設される公民館に複合施設として子育て支援センターを併設することを検討していただけないでしょうか？
4	上野方	子育て	最近、保育士資格をもつものが一般企業に就職するため保育士が不足しているという話を聞いていますが、市の行政として、園児何人に対して何人の保育士が必要だと考えていますか？
5	上野方	子育て	子育て関係の補助金・助成金で、利用が多い制度や、お得な制度があれば教えてください。
6	上野方	まちづくり	大海寺野地区の公共下水道の工事について、当初は平成19年までに終わるという話でしたが、今は平成30年に終わる予定と聞いています。公共下水道工事の進捗と、いつごろ終わるのかをお聞かせいただきたいです。
7	上野方	まちづくり	市長のタウンミーティングは2年に一回と聞いていますが、なぜでしょうか？職員の負担が増えるといった理由があるのでしょうか？
8	上野方	子育て	土曜拠点保育施設について最低でも東西一園ずつで行っていただければありがたいです。
9	上野方	教育環境	大杉台もスクールバスの対象地域にしてほしい。上野方地区は坂も多く3キロの距離制限は厳しい。
10	上野方	教育環境	通学の安全対策について、上野方地区に対して考えている政策はありますか？例えば、防犯灯、防犯カメラ、ドライブレコーダー等、計画があればお聞かせいただきたいです。
11	上野方	教育環境	国道8号線の地下道に防犯カメラを設置するという話を聞いたのですが、設置計画に入っているのでしょうか？

その他に7件のご意見あり

平成29年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	上野方地区	日時	11月13日(月) 19時00分より 21時00分まで		参加者数	48名
会場名	上野方公民館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	税務課 金三津 匠	
市側の出席者	市長 村椿 晃 企画総務部長 川岸 勇一 企画政策課長 赤坂 光俊 ほか		地区からの 主な参加者	地区活性化協議会長、区長ほか		

1. あいさつ

地区活性化協議会長 馬場 均

2. 市長談話

市長 村椿 晃

魚津市の現状、「子育て」「教育環境」「まちづくり」について

○「第48回衆議院議員選挙の投票率」について

○うおづのうまい水 モンドセレクション最高金賞受賞

○たてもんの森 文化の継承

○人口について

- ・住み良さランキング（東洋経済新報社）について
- ・魚津市の現状・将来予想

○子育て支援について

- ・安心して産み育てる環境の整備
- ・仕事と家庭の両立等
- ・経済的負担の軽減

○教育環境について

- ・小学校英語教育の推進
- ・教育用ICT環境整備
- ・通学の安全、安心対策
- ・ふるさと教育

○まちづくりについて

- ・定住、空家対策

○災害に強いまちづくりについて

- ・津波のハザードマップについて

○健康寿命の延伸について

- ・魚津市民の健康（がん死亡率等）

3. 意見交換（地区からの振興策等の提言・提案等について）

○魚津のうまい水のPRについて（その他）

「魚津のうまい水」の話がありましたが、販売場所はどこでしょうか？市長はPRとおっしゃったが、実際にPRがなされているのかというと、いまひとつの部分があると感じています。

（村椿市長）

水道局、商工観光課、駅前の売店等で取り扱っています。

（PR 不足については）おっしゃるとおりです。ご意見ありがとうございます

○子育て支援センターについて（子育て）

子育てについて、市には支援センターが二箇所あると聞いていますが、その利活用状況についてお聞かせいただきたいです。

（村椿市長）

二箇所の子育て支援センターのうち、一つが市営（公営）、もう一つが民営です。公営は健康センター内で「のびのび」という取組みがあります。年間に親 6 千人、子 6 千人、延べ 1 万 2 千人の利用があります。民営は加積認定保育園内で「にこにこ」という名称で取組みがあります。年間に親 2 千人、子 2 千人、延べ 4 千人の利用があります。

○子育て支援センターについて②（教育環境）

上野方地区では放課後の児童クラブに 38 名の登録があります。現在は上野方公民館を利用しています。よつば小学校の開校に伴う、教育環境の変化等を踏まえて、新設される公民館に複合施設として子育て支援センターを併設することを検討していただけないでしょうか？

（村椿市長）

お話の趣旨はわかりました。ただし、実際にそれを実現する際に一番の課題となるのが「人」と「手当」です。全国的には、地域の方々が協力しあってそういった施設を運営しているところもありますし、それが無理なら、土曜拠点保育のように一箇所に集約し、必要な人員をしっかりと揃えてやるといった方向性になると思います。理想として、近くに子供の面倒を見る場所があれば良い、という意見は良くわかりますが、実現する際には、働く人の「手当」というのが一番の課題になるかなと思います。

学童保育の件は、従来から、小学校統合に伴って場所をどうするかといったことが、話題になっています。本来は、小学校の近くに学童保育の施設があり、放課後はそこを利用し、時間がきたらスクールバス等で帰宅する、というやり方が一番合理的です。しかし、統合後にその地域で子供の顔が見られなくなるのは寂しいので、学童保育は地域に残して欲しいといった声もあり、統合後も学童保育は統合前の地域で行うということもあります。ただし、そういった利用が減ってきているという状況があります。下校がバラバラになるため、統合校から離れた地域の学童保育に人が集まらないということが起きているようです。

私は今が過渡期だと思っています。子供たちが放課後安全に過ごし、親御さんが仕事をしながら子供の面倒を見たりできる格好にもっていきには、もうしばらく時間がかかると思います。今、統合校の近くだけでやる、地域でだけやる、と決め付けないほうが良いと感じていて、色々と試しながらどのようにしたら良いか考えていかなければならないと思います。

○保育士について（子育て）

最近、保育士資格をもつものが一般企業に就職するため保育士が不足しているという話を聞いていますが、市の行政として、園児何人に対して何人の保育士が必要だと考えていますか？

(村椿市長)

人数の基準は国で決められています。

本当は園児が少なくても、きちんと保育士を配置できれば良いのですが、国の基準を超える分については、財源を市で負担することになるため、そこを見ながら配置を考えざるをえないというのが現実です。足りない分は、臨時の保育士さんを雇用しています。

(川岸企画総務部長)

平日は基準を満たして保育士を配置しています。拠点保育については、親の仕事の関係で、土曜日にも子供を預ける方がいらっしゃいますが、子供が一人でも保育士は二人必要なため、それならば一園に集約すれば仕事をまわしやすくなるという土曜日限定での話です。

○子育て関係の補助金等について（子育て）

子育て関係の補助金・助成金で、利用が多い制度や、お得な制度があれば教えてください。

(村椿市長)

魚津市は所得制限なしで二人目以降の保育料を無料にしています。滑川市が同時入所でも二人目以降の保育料を無料にしているので、その次に手厚い状況ではないかと思っています。

○公共下水道の工事について（まちづくり）

大海寺野地区の公共下水道の工事について、県道の高速道路より上の工事が始まっています。当初は平成19年までに終わるという話でしたが、今は平成30年に終わる予定と聞いています。農家は敷地面積が大きいので、受益者負担金も高くなりますが、平成31年に消費税が増税されると、工事費に上乗せされ、さらに負担金が高くなるのが予想されます。公共下水道工事の進捗と、いつごろ終わるのかをお聞かせいただきたいです。

(村椿市長)

大海寺野地区を公共下水道事業の計画区域に追加したのは、平成25年11月です。翌年、平成26年に工事に着手しました。現在の整備率は52.5%です。主な公共施設として小学校、保育園、公民館への接続は終わっています。

この事業の財源は国の交付金を利用しています。今年度、市が国に要求した交付金額のうち、実際に交付されたのは56.5%という状況です。要求した交付金が一度でくれば、進捗が速まるのかもしれませんが、この状況でいくと後3年はかかるというのが今の見通しです。消費税が上がる前に終わらせたいですが、間に合うかどうかは微妙な状況です。少しでも早く進むように、予算の確保をがんばりたいと思います。

○タウンミーティングについて（その他）

市長のTMは2年に一回と聞いていますが、なぜでしょうか？月に一度行っても、魚津市は13地区なのでまわることは可能だと思います。職員の負担が増えるといった理由があるのでしょうか？

（村椿市長）

タウンミーティングについては、議会でもそういった話がありましたが、私は2年に一度と決めているわけではありません。来年もやりたいな、とは思っています。どういった方法をとるのかは色々と考えたいと思っています。なかなか若い年齢層の方が参加しにくいという状況があるので、幅広い年齢層の方から意見を聞くために、開催頻度をあげなくてはなりません。毎月は無理かもしれませんが、毎年開催できるようにしたいと思っています。

○土曜拠点保育について（子育て）

土曜拠点保育について、市長は、皆さんに納得して頂いたと説明しておられましたが、先日20～30代の奥さんと話をした際に聞いたところ、直接は言わないようですが、やはり納得していないようです。市長の説明はわかりましたし、人材確保や色々な面で平成30年4月からは無理なのかもしれませんが、できれば早い時期に、最低でも東西一園ずつで行っていただければありがたいです。離れた場所に送り迎えするお母さん方のためにそういった体制にしていただければありがたいです

（村椿市長）

土曜拠点保育の件については、言いにくい意見もやはりあると思います。まずは説明しながら、準備を進めているところなので、来年以降、実施しながら、実際にどんな課題や不都合があるのかしっかり吸い上げ、課題をしっかり見て、改善点を考えていくということをやっていきたいと思っています。

○スクールバスについて（教育環境）

私の住んでいる大杉台はスクールバスの対象から外れているようで、よつば通信には概ね3キロ以上の地区に導入すると記載されていますが、学校からの距離以外にも何か根拠はありますか？車のメーターで測ったところ、本江小学校から上野方小学校前交差点まで2.9キロ、大杉台の入口までは3.2キロ、大杉台の坂の上で3.5キロありましたので、その観点でいくと、大杉台も対象になって良いのではないかと思います。

何か他に対象を決める根拠があったのならともかく、上野方は坂が多いので、全員でなくても、例えば低学年だけでも良いので、もう少し考えていただければと思います。

（村椿市長）

スクールバスの件は、根拠を問われると頭が痛いですが、国の基準4キロとあるものを、魚津の地域の特性などを考慮した上で、統合準備委員会で議論を重ね、3キロというラインを引いたと聞いています。3キロ以内は、全員徒歩、ではなく、季節や学年などで安全

対策を考えないといけないという声もたくさんあるので、今の段階でこうしますとは言えないが、そういう声を踏まえて考えていきたいと思います。

○スクールバスについて②（教育環境）

現在の上野方小学校の生徒数は92名です。そのうちスクールバスの対象外となっているのは73名です。上野方地区には約850世帯があり、そのうち約480世帯が移住してきた世帯です。小学校を取り囲む通学距離1キロ以内は大海寺野1～3区、大杉台区で、約600世帯があります。環境でいえば、上野方は住みやすい村で、元から住んでいる人よりも、町部から上がってきた人のほうが多いということです。大海寺野1～3区、大杉台区で上野方小学校の生徒の80%を占めています。中学生の自転車通学の基準は2キロ、社会人の通勤手当の基準も2キロなのに、小さい小学生が3キロというのは、地域協議会としても、事前に話し合う場があっても良かったのではないかと思います。寛大な配慮をお願いしたいです。

(村椿市長)

お話はよく分かります。しかし私が簡単に同意すると、今までの話し合いは何だったのかということになってしまいます。

一番問題に思うのは、距離はもちろんですが安全面です。通学の安全体制をどうやって確保するのかという視点で考えたいと思っています。3キロ、2.5キロと縮めていくと基準がなくなってしまう、今から元に戻すのはかなり影響が大きいです。

(川岸企画総務部長)

今、土地柄や季節によって、上野方地区の例はどうするのかといったことを、統合準備会で一緒に考えて協議していただいています。統合を進めるときに、国の基準4キロでは理解を得られないだろうという話になりました。逆に親御さんの中には、全員バスになると体力が弱るといった考えもあり、どこでラインを引くかとなったときに、魚津市では3キロにしようということになりました。

ある程度のところで基本を置かないと、バスを全地区に配置するとしたら、バスや運転手かなりの数必要で、そういった現実的な問題もあって、3キロを基本線に地域統合準備会で準備しているということをご理解いただければと思います。

○通学の安全対策について（教育環境）

通学の安全対策について、上野方地区に対しての行政で考えている政策はありますか？例えば、防犯灯、防犯カメラ、ドライブレコーダー等、地域行政としての計画があればお聞かせいただきたいです。

(村椿市長)

先日、新川文化ホールで防犯のフォーラムがありましたが、まさにそこを考えての話でした。今、警察とは、犯罪発生の危険性や環境を考えて、防犯灯や防犯カメラをどういう風に配置していけばいいかというプランを作ろうということになっている。そのときに地域の状況を見て、どこに置かないといけないか、ということを計画していきます。そのときも、先ほど話しましたが、事業所・会社等の協力を求めていく必要があります。そういうことを考えてやっていこうと思っています。

○防犯カメラの設置について（教育環境）

具体的に、国道8号線の地下道に防犯カメラを設置するという話を聞いたのですが、

設置計画に入っているのでしょうか？

(川岸企画総務部長)

具体的な防犯カメラの設置予定は把握していませんが、今後、安全の点検をして危険性、緊急性の高いところから、順次整備していきたいという考えでいます。

○スクールバスの運行について（教育環境）

スクールバスの運行予定はどのようになっていますか？

(川岸企画総務部長)

朝は登校時間が同じなので1年生～6年生まで同じバスに乗っていきます。帰りは、低学年と高学年で下校時間が違うので、2便を基本に運行します。

○定住・移住について（まちづくり）

まちづくりについて、魚津市では今年の4月現在で1,008棟の空家があり、上野方には32棟の空家があると聞いています。定住や移住を希望される方への助成金・補助金について説明していただけないでしょうか？

(川岸企画総務部長)

市のPR不足をお詫びします。転入して、中古住宅を取得されたら30万円を補助する、子育て世代ならばさらに加算する、といったような制度があります。

○空家の利活用について（まちづくり）

空家の利活用状況について、大海寺野2区にも民泊があります。魚津市では、空家を利用した生活体験ハウスは片貝方面が中心なののでしょうか？

(村椿市長)

生活体験ができる空家は、今現在、魚津市にはないといって良いです。上野方にあるようなものは、個人で自由に運営しているもので、行政が用意して応援する生活体験ハウスは魚津市にはまだありません。

○空家の利活用について②（まちづくり）について

NPO法人の関係だと6月ごろの新聞に出ていたのですが？

(川岸企画総務部長)

市長が冒頭で話した上野方地区の例はまさにそれで、今いろいろできないかと取り組んでおられます。民泊をすると募集はかけるというところまではきていませんが、できないかなと取り組んでやっておられるところです。

(村椿市長)

今はまだ、お金をとって運営する形にはなっていないということです。今は、個人の方が友達を泊めるという形でやっていて、宣伝して誰でも来てくださいとはなっていません。

(川岸企画総務部長)

大々的に旅館のような民泊をやるとしたら、消防の基準などの基準をクリアしなければならないのですが、そういった取り組みはスタートしていると理解しています。

(村椿市長)

県内ではいくつもあります。最初にやったのが射水市です。内川運河沿いの民家をN

PO法人が運営し、それを市が応援し、一泊千円で民泊をやっています。八尾町、朝日町でもやっています。魚津市もそういった取り組みをやっていると思っていて、本格化して見えてくるのは来年ぐらいになると思います。

○空家の問題について（まちづくり）について

上野方地区には32棟の空家があると申し上げました。空家が一番問題になるのは、環境美観が犯されることで、近隣からたくさん苦情がきます。住民からの苦情に対して、行政としての対策をお聞かせいただきたいです。空家に隣接して住んでいる方がどうかしてくれと苦情を言っても、空家の相続人に連絡がつかないなど色々な関係があって手立てがなく、地域の環境美観が損なわれています。

（村椿市長）

一つは、空家の所有者にどこまできちんと管理をやってもらえるかということです。昨年シルバー人材センターが、遠隔地に住む人であっても、故郷の空家の痛み具合や周辺環境がどうなっているか、1回千五百円で知らせてもらえるサービスをやっています。まずはお知らせして、必要な管理や補修があればやってもらいます。市とシルバー人材センターで協定を結んで始めました。少しずつ利用は増えています。

管理する人がなくなった空家に対しては、全て税金でなんとかすることもできますが、大きな費用がかかります。一方で地域でその環境をどうやって守るかという取り組みの動きがあれば、市も協力して一緒に考えていくということもできます。本来は所有者に責任がありますが、それを頼れない場合には地域の皆さんと考えていく他ないと思います。

（川岸企画総務部長）

苦情を誰に言えばいいかわからない空家は確かにあります。そうした場合は、都市計画課の建築住宅係に話をいただければ、市を通して所有者に伝えることはできます。所有者不明の空家に対しては、市で空家条例というものを作ったので、周囲に著しい迷惑をかける危険な空家を「特定危険空家」に認定すれば、手順を踏んだ上で、代執行で取り壊すということもできます。迷惑の状況によって色々な措置がとれると思います。まずはご相談ください。

○スーパー農道の整備について（まちづくり）

昨年11月にスーパー農道を今よりすっきりした形にしようということで、県の役員の方から説明があったのですが、そのときの話では、今年詳細設計をやって、年中に関係者に説明するということでした。現時点では音沙汰がありません。日程的なことだけでも説明いただけないかなと思っています

（村椿市長）

新川土木センター所長に言っておきます。

○魚津市の共同事業について（まちづくり）

NPO法人地域福祉協議会で、桃山運動公園の竹を切ったりしていました。魚津市共同事業に何度も応募していますが、一度も通っていません。魚津市では全く評価していただけておりません。竹を切ったときも、市役所に声をかけましたが、農林水産課の職員は来ませんでした。また、よそから来た人を魚津市はもっと大事にするべきだと思います。

(村椿市長)

よそから来た人をもっと大事にするべきだというご指摘はもつともだと思います。外からの視点を取り入れて、その地域の発展につなげていくという考えをもって、これからも進めていきたいと思っています。

○人口対策の具体案について（まちづくり）

市長談話で人口を増やそうという話をお聞かせいただきましたが、具体的にこういうことをやりたいといった考えをお聞かせいただきたいです。

(村椿市長)

一つは、魚津市に、若い人が働くための大小さまざまな企業が必要だと思っています。特に女性が働くことができる企業です。先日、新川文化ホールでゲームクリエイターを目指す人を集めて、魚津ゲームフォーラムを開催しました。県内外から 100 人の若者が集まりました。そういった取り組みを続けていこうと思っています。人材がいれば、環境の良い魚津に事務所を作っても良いと思っているところもあります。まずは人材を作ってから、事業所を誘致していきます。

もう一つは、時間・お金を持っていて、ゆとりある生活を望んでいる年配層の方に対して、セカンドハウスとして魚津市の空家等を提供し、お試しで来ていただくというようなことを考えていきます。

このようなことを地域のみなさんと一緒にやっていきたいと思っています。地域のみなさんから提案があれば、相談には乗りたいですし、都会の人との関係を繋ぎたいと思います。これは市の事業でなくても、どうやって地域に活力を出すかという話なので、話を持ってきてもらえれば、私個人でも関係を繋げるように頑張ります。